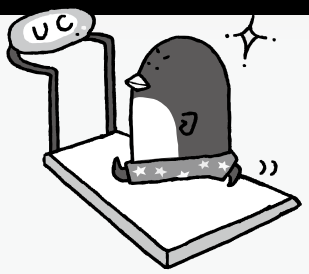
第4章　本誌2011年5月号付属RXマイコン基板＋RX-MEGAでNFSまで動く！



ルネサスRXマイコンでuClinuxを動かす

佐藤 嘉則

ルネサス エレクトロニクス製32ビット・マイコンRX62NにuClinuxを移植した．本章では，その基本的な起動方法と，ビルド環境の構築やカーネルを移植するポイントなどについて解説する．

（筆者）

今回ターゲットとして使用したRX62Nボードは，「究極のRX62N」と「RX-MEGA」（どちらも特殊電子回路製）です．**写真1**に，「究極のRX62N」を示します．大容量のSDRAMが搭載されているので，uClinuxも余裕をもって動かすことができます．また，10/100Base-TX対応EthernetやSDカードにも対応しているので，ネットワークやストレージも接続することができます．

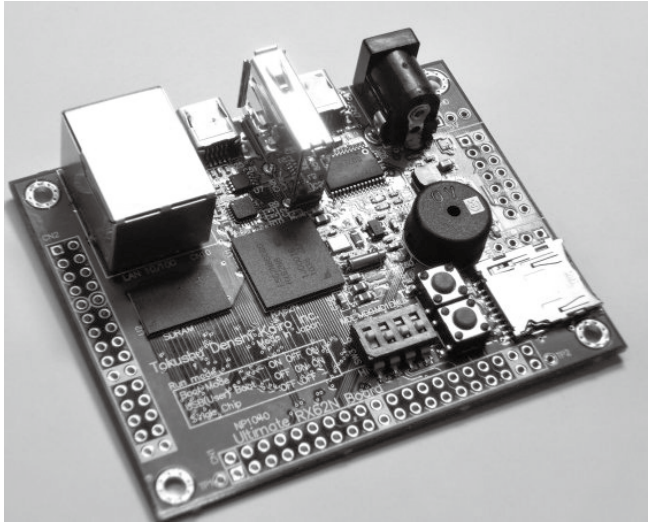


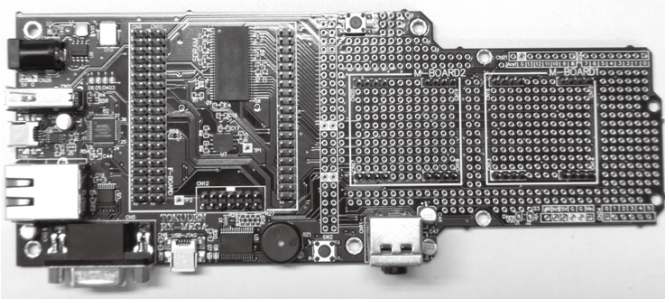
写真1　「究極のRX62N」ボードの外観
http://www.tokudenkairo.co.jp/rx62n/

もう1枚のボード「RX-MEGA」を**写真2**に示します．実は，このボード単体ではCPUを搭載しておらず，本誌2011年5月号付属RX62Nマイコン基板をスタック接続して使用します．こちらのボードにも，大容量SDRAMをはじめとして，EthernetやSDカードに対応しています．

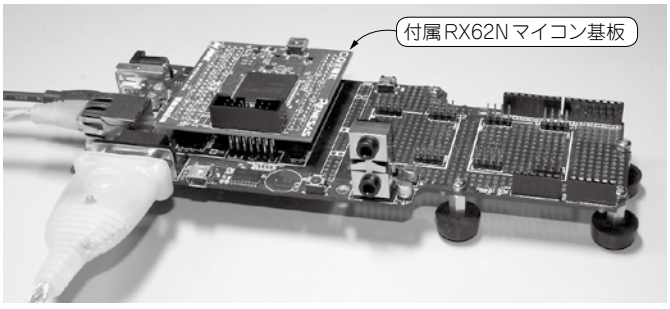
今回のターゲットCPUとして使用した「究極のRX62N」と「RX-MEGA」のハードウェアの違いを**表1**にまとめます．

1．ビルド済みuCliunxを試してみよう

カーネル・ビルド環境の構築法やビルド方法などの説明を始める前に，ビルド済みのファイルを書き込んで，RXボードでuClinuxを起動してみましょう．どちらのボードにも



（a）RX-MEGA単体



（b）本誌付属RX62Nマイコン搭載時

写真2　「RX-MEGA」ボードの外観
http://www.tokudenkairo.co.jp/rxmega/